



2018年4月13日

各位

会社名 株式会社セイコー
 代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一
 (コード番号2872 東証第2部)
 問合せ先 取締役経営企画室長 田辺 俊秋
 TEL 025-386-9988

2018年2月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年2月期（2017年3月1日～2018年2月28日）の業績予想について、2018年1月12日付で発表いたしました業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

2018年2月期通期業績予想数値との差異（2017年3月1日～2018年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,650	△40	△10	40	97.67
実績値 (B)	3,645	△79	△44	12	30.41
増減額 (B-A)	△4	△39	△34	△27	
増減率 (%)	△0.1	—	—	△68.8	
(ご参考) 前期実績 (2017年2月期)	3,821	△2	23	11	27.10

(注) 2017年9月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異が生じた理由

2018年2月期は、2018年1月12日に公表いたしました「平成30年2月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において通期業績予想の修正をいたしましたが、第4四半期会計期間に新潟工場の設備の調整不足等による製造トラブルが発生し、製品の廃棄が大量に発生した結果、営業損失79百万円、経常損失44百万円、当期純利益12百万円と大幅に予想を下回りました。

2019年2月期は、業績予想を下回る原因となった製造工場において「精度の高い生産計画の策定及び進捗管理の徹底」、「製造トラブル及びロスの撲滅」、「機械メンテナンスの徹底」、「5S、改善活動の推進」、「製造技術の向上と人材育成」の5項目を中心に改善活動に取り組み、早期の業績回復並びに精緻な業績予想の開示に努めてまいります。

以上